

爽やかな秋晴れのなか 寄木地区親睦グラウンドゴルフ大会



ナイスショット！

10月4日(日)、平成の森の林間広場を会場に、「第2回寄木地区親睦グラウンド・ゴルフ大会」が開催されました。

この大会は、寄木地区内のコミュニケーションを図ることを目的に、歌津グラウンド・ゴルフ協会の協力をもらいながら、寄木契約会や行政区の皆さんのが自主的に開催したもので、46世帯中25世帯が参加し、老若男女48人が爽やかな秋晴れに映える芝生の上でグラウンド・ゴルフを楽しみました。競技終了後には、得点集計の合間にホールインワン大会が行われ、ひとつの行政区の大会とは思えないほどの盛り上がりを見せっていました。



ホームでのクロスプレー。判定は…セーフ！

熱戦を繰り広げた2日間 志津川中学校が準優勝！

10月17日(土)と18日(日)の2日間、平成の森など町内3つの野球場を会場に「第31回河北優勝旗争奪南三陸地域中学校野球大会」が開催されました。

歌津中学校は、惜しくも2回戦で大島中学校に敗れましたが、2日目の準決勝には、志津川中学校と戸倉中学校が進出し、地元同士の対決となりました。

両チームとも守りが堅く、0対0のまま最終回を終える投手戦となり、ノーアウト満塁から始まる特別延長に突入しました。延長戦では、送球ミスの間にノーヒットで3点をとった志津川中学校が、8回裏の攻撃を1点に抑えて決勝に進みました。

決勝の相手は、志津川中学校出身の西條和也監督が率いる唐桑中学校。中体連新人戦の地区大会で腰を痛めたためにエースを欠いた志津川中学校は、終盤に投手陣が崩れ、最終回に追い上げを見せるも、4対6で優勝を逃しました。

志津川中学校の野家智昭監督は、「今大会は、エースと主軸バッターがケガのために出場できなかったが、それをみんなで補って、よくここまで戦ってくれた。まだ、私たちには中体連新人戦の県大会が残っているので、今回の反省を活かし、県大会で上位を目指したい」と話してくれました。



バントのサインに必死でボールに食らいつく



強肩で盗塁を阻止



準優勝した志津川中学校野球部の皆さん

戸倉西戸地区の当日の様子



戸倉在郷地区 完全に川岸と道路がえぐり取られています

10月8日(木)、日本列島を北上した台風18号が大きなツメ跡を残して当町を通過していきました。

町内各地で停電、冠水、倒木や土砂崩れなどが発生し、最も被害が大きかったのは、総雨量が294ミリに達した戸倉地区で、消防団員や地区住民の皆さんによる懸命な復旧作業が行われました。被災された皆さんに、心からお見舞い申し上げます。

当町の主な被害状況は、次のとおりです。(10月22日現在)

【床上浸水】 戸倉地区	25世帯	志津川地区	1世帯
-------------	------	-------	-----

【床下浸水】 志津川地区	117世帯	戸倉地区	51世帯
--------------	-------	------	------

入谷地区	1世帯	歌津地区	10世帯
------	-----	------	------

【施設被害】 土木関係	55箇所、204,540千円
-------------	----------------

農林業関係	67箇所、22,595千円
-------	---------------

水産業関係	37箇所、69,898千円
-------	---------------

台風18号襲来



舞台あいさつ終了後 握手のサービスに思わずにっこり

観客動員数1,849人 映画「パンドラの匣」先行上映会

9月26日(土)と27日(日)の2日間、当町を主なロケ地として撮影された映画「パンドラの匣」がベイサイドアリーナと歌津公民館で先行上映され、富永昌敬監督と主演の染谷将太さんが舞台あいさつを行いました。

富永監督は、「清水小学校は、本当にロケ地として最高の場所だった。ここ以外に考えられないほど、映画の雰囲気にマッチしていた。提供していただいたロケ弁当は、何十年も撮影スタッフとして働いている人でさえも、こんなにおいしいロケ弁は初めて！と話すほどにおいしかった」と話しました。

また、会場に集まったオバサマたちから「かわいい～」と大人気だった染谷さんは、「撮影が終わって東京に戻ったときは、逆ホームシックにかかり、とても寂しかった。久々に南三陸町に戻ってきて、この風景を見たときは、第二の故郷だと強く感じました」と笑顔で話してくれました。



奇跡の巡り合わせ 小島りち子さんが母校でカルメン

10月6日(火)、志津川中学校体育館で、オペラアーツ振興財団によるオペラ「カルメン」の公演が行われ、主役のカルメンは志津川中学校の卒業生で、町の夢大使も務める小島りち子さんが演じました。

この公演は、文化庁の「本物の舞台芸術体験事業」として行われたもので、偶然にも、小島さんが所属する劇団が公演することになりました。小島さんは、「今回、母校で主役を演じることができて本当にうれしいです。この奇跡の巡り合せは、ふるさとが私を呼んでくれたように思います」と話してくれました。

迫力のあるオペラの合唱と演技に触れた生徒の皆さん、「ブラボー！」と大きな声援と拍手を送っていました。また、第二幕の酒場のシーンには、志津川中学校の生徒9人が役者として出演し、プロと見分けがつかないほどの演技を見てくれました。